

vol.06

2019年7月14日発行

Senpan!!

セ ン パ ン

河北仙販創立60周年記念号

今回のSenpan!!いつもとなんか違うかと、驚かれたかもしれませんね。

7月号は私たち河北仙販の「創立60周年特別バージョン」でお届けしています。

河北新報を購読者のポストへ「早く・確実・丁寧」に、毎日お届けする最終ランナーとして60年。皆様のおかげで還暦を迎えることができました。本当にありがとうございます。

これからも河北新報と皆様の生活に役立つ商品を、真心こめてお届けさせていただきます。



TOP INTERVIEW

加藤 伊佐雄 株式会社 河北仙販 代表取締役社長

河北仙販が地域と共に歩んできた60年。代表取締役社長・加藤伊佐雄氏が過去・現在・未来を振り返るスペシャルインタビュー。

1951年、仙台生まれ（何歳だ？）の仙台育ち。妻と2人暮らし。長男・長女は勝手に頑張っている。中高時代は運動部。中学のときの弁当の包み紙は「河北新報」。大学ではあまり授業に出なかった。1976年、河北新報社に入る。33年間、新聞記者。仙台、東北各県、東京を転々とし、たくさんの人と付き合い、たくさんの友達ができた。2015年、同社専務取締役。18年河北仙販社長。「美しい時を刻みたい」が今の気持ち。



——河北仙販は今年、創立60年だそうですね。

昭和34年7月1日に仙台で産声を上げました。この年に生まれた方は今年、還暦ですね。仙販が還暦を迎えられたのも読者の皆さまのご愛顧のおかげです。河北新報は創刊122年なので、仙販はその歴史のほぼ半分に仙台で刻んだわけです。

——個人販売店が多い新聞業界で販売会社は当時珍しかったと聞きますが。

地方紙の新聞販売会社としては全国でも先駆的存在で、『日本一の販売会社』を目指し、組織的な完全配達やマンションの階上配達、地域貢献活動など実績を重ねました。いまや仙台市内で日刊紙を購読する3世帯に2世帯は仙販が配達する河北新報の読者です。ページ数も60年で3倍に増え、河北お家芸の地域情報や全国ニュースの多面的報道、プロ野球楽天気情報、住民に寄り添った東日本大震災の被災・復興報道など、クオリティーの高い地方紙とご評価いただいています。

——新聞の魅力って何でしょう。

新聞は実は全年代型の情報ツールなんです。小中高生には幅広い興味・関心や思考力を身につけたスマート・パーソン(賢い大人)になるためのツール。中堅サラリーマンには、声の大きい少数者発信情報が「多数世論」になりがちなネット情報でなく、客観的な多数世論をとらえられる情報源として仕事を間違いなくこなすためのツール。高齢者には、仕事や地域で自分が果たした役割と今後どんな人生を歩むのかを考える物差

しを提供できるツールです。

——なるほど。

さらに、簡便を優先するファストフードでなく地場産品や健康を重視するスローフードが注目されていますが、河北新報は『スロージャーナリズム』の要素を持っています。このスローは早さ優先のネット情報より信頼、真実、多様性を重く見る考え方で世界で広まりつつあります。スロージャーナリズムは世界に類例がない精緻な戸別配達制度に支えられています。仙販は900人の配達スタッフが毎朝夕、高齢者宅などお客さまの安全・安心に気を配り仕事をしています。

——河北仙販は将来どんな会社を目指すのですか。

お客さまの支援で60年の次はオンリーワンの100年企業を目指したいですね。読者の体温を感じ、人と地域の役に立つのが仙販の務めです。私たちは新聞を基本に生活必需品や安全な日常生活を送ってもらうためのサービスなども提供・配達できる血の通った『総合デリバリー企業』に成長したいのです。どうぞ、今後ともご支援ください。

創立60周年記念
豪華!大懸賞
8月1日スタート

創立60周年記念

ありがとうございます
これからも
大懸賞!!



「ありがとう」の気持ちをこめて、
抽選で390名様に
すてきな賞品をプレゼント!



河北仙販29支店6課の全社員
「ありがとう!」
「これからも!」